

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表: 令和4年3月24日

事業所名 ナーシングデイこすもす(放課後等デイ)

保護者等数(児童数): 14人 回収数: 9人 割合 64 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	6	3	0	0		
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	5	3	0	1	職員(看護師以外)は拝見したことがないのでわからない	玄関に顔写真と職種を載せた掲示物を貼っている。今後はホームページにも掲載して紹介していく。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	8	0	0	1		
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	7	2	0	0	将来に向け摂食機能を維持することについては子どもと保護者のニーズになっていない支援だと思う	当事業所は口腔リハビリは行っているが摂食訓練を含めた経口摂取は行ってないため、今後もその支援を提供することは難しい
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	6	3	0	0	利用時のリハ支援や活動等、情報提供がわかりにくいのでわからない	連絡ノートを含めて口頭でも情報提供を行っていく
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	0	4	4	1		コロナウイルス感染症の影響もあり計画はしていない
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	8	1	0	0		
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができてきているか	8	1	0	0		
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	7	1	1	0		施設内に入っていたり機会を制限していることもありゆっくり面談することができていない。ICTの活用も検討したい。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	2	6	0		コロナ禍でもあり保護者の方に集合していただく機会は作れずにいる。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	3	4	0	2		
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	7	2	0	0	連絡ノート等詳しく書かれていない時があるのでわかりづらい	できるだけ詳細に各職種の関りを記入していく
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	7	2	0	0		定期的なホームページの更新はできている。今後も情報発信していく。ブログも始めたので活用していきたい。
14 個人情報に十分注意しているか	7	1	0	1			
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	2	5	1	1		マニュアルについては見直しを行いホームページにのせていく。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	0	7	1	1		年2回の防災訓練を行っている。防災に関する研修も行っている。実施したことをホームページ上でお知らせしていく。
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	8	1	0	0		
	18 事業所の支援に満足しているか	8	1	0	0	大満足です	

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせられて実施されることが想定されている。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表:令和4年3月24日（14人中14人回答）

鳥取県看護協会ナーシングデイこすもす

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	50%	40%	10%	・1人につき6.3㎡のスペースをとっているが、新型コロナウイルス感染対策として2m以上の間隔をとるよう努めているので、狭いと感じている職員もいた。
	2	職員の配置数は適切である	80%	15%	0%	・人員配置基準の利用者1.5人に対し職員1人の基準は適切である。ただ、送迎が重複した場合など職員が少なく感じることもある。（無回答5%）
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	90%	10%	0%	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	25%	65%	10%	・朝礼、終礼を実施し情報の共有、改善策を話し合い実践している。できない場合は情報共有できるように日誌に記録し各自確認するようにしている。今後は職場内会議を定期的に行うようにしていく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	50%	50%	0%	・今後も1年に1回調査を行い業務改善につなげていく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	70%	20%	0%	・ホームページで公表する（無回答10%） ・自己評価後の結果、取り扱いについての周知が必要。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	60%	20%	15%	・安全サービス管理委員会開催は行った。第三者評価は行ってないが今後必要ならば取り入れたい（無回答.5%）
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	65%	35%	0%	・事業所が主導で行っている医療的ケア児者の研修に参加している。現在は不定期に行っている諸寧研修を定期的に行っていく。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	50%	40%	10%	・契約時や初回利用時などに本人を交え、保護者からの聞き取りの中で必要と思われる支援を計画に盛り込むようにしている。今後はさらに保護者からの意向を盛り込みながら立案していく。
10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	15%	60%	15%	・標準化されたものは使用していない。今後はアセスメントシートの変更することも検討したい（無回答10%）	
11	活動プログラムの立案をチームで行っている	35%	40%	5%	・児童指導員、介護福祉士を中心にして四季に合わせた行事やイベントを行っていく（無回答20%）	
12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	30%	50%	10%	・季節に合わせた創作活動など短時間でできるようなものを準備し一緒に行っている（無回答10%）	
13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	15%	65%	20%	・平日は入浴と注入をするだけで終わってしまうので、長期休暇時に水遊びやシャボン玉、芋ほりなどの活動を行った。今後も個々に合わせた支援の設定を継続していく。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
適切な 支援の 提供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	40%	50%	10%	・一緒に絵本を見たり、音楽を聴いたり、個別ではリハビリを受けたりしている。無理はせずできる時にできることを行うように支援している。リハビリに関しては理学療法士を中心に計画立案していく。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	70%	20%	10%	・朝礼で本日の利用者の確認等を行っているが、放課後等デイサービス以外に3事業を展開しているため、朝礼時間帯には送迎に出発している職員や遅番勤務者もあり、職員全員が揃って確認することができない。そのため、業務日誌の活用、ホワイトボードに記入し職員で共有できるようにしている。 ・医療的ケアの確認は看護職員だけで短時間打合せを行うようにしている。カルテにアセスメント、実施した経緯まで記録し次回のケアにつなげていくことをさらに徹底したい。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	50%	40%	5%	・終礼をし情報共有を図るようにしている。伝達事項は業務日誌に記入する、翌日の朝礼で伝えるなどしている(無回答5%)
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5%	85%	5%	・カルテの記録不足がみられることがあり。看護師のアセスメント部分の記録が弱いのでその部分に力を入れ支援の繋がりが強まるようにする(無回答5%)
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	35%	45%	0%	・定期的なモニタリングが不十分であるため、実践していく(無回答20%)
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	20%	60%	0%	・職員全員で熟読し話し合いを行いながら今後は検討していく(無回答20%)
関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	70%	15%	0%	・受持ちの職員が児童発達管理責任者もしくは所長が参加している(無回答15%)
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	80%	15%	0%	・送迎時に学校での様子を必ず聞くようにし、帰所後に他職員に伝達している。 ・支援者会議などにも参加できている(無回答5%)
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	85%	10%	0%	・事業所独自の医療的ケアに関わる指示書を主治医にもらい、それに沿って支援している。指示書は毎年取り直しをする(無回答5%)
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	50%	25%	0%	・情報共有をする体制はあるが、そのような機会に遭遇したことがない。必要な時は連携をとっていく(無回答25%)
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	70%	5%	0%	・当事業所内での移行の方しか経験をしていないが、今後そのような場合があれば連携をとっていく(無回答25%)
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	50%	20%	15%	・対象の方があれば行っていく(無回答15%)
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	15%	20%	45%	・コロナ禍でできないが、状況が許すようになれば交流を図っていく(無回答20%)
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	15%	50%	15%	・管理者、相談支援専門員は参加している(無回答20%)
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	70%	20%	0%	・送迎時、デイでの様子をお話している。連絡帳も利用し伝達している(無回答10%)	

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	15%	50%	20%	・デイ利用時に感じたことや、家での様子や関りなどを聞き、よりよい支援の方法を一緒に探し出すなどを行うようにしている。ペアレントトレーニングについては今後は職員全員で学習していく。(無回答15%)
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	65%	20%	0%	・契約時に説明するものを行っている(無回答15%)
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	65%	30%	0%	・個人で対応できないことは、職員間で話をするなどして対応するように努めている(無回答5%)
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	10%	50%	20%	・コロナ禍でできない。落ち着けば、何か企画したいと考えている(無回答20%)
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	95%	5%	0%	・全員に共有し検討、体制の見直しを行っている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	95%	5%	0%	・定期的にブログの更新を行っている。年に2回の広報紙の発行も行っている。今後も事業所内での様子など発信していく予定。
	35	個人情報に十分注意している	95%	0%	5%	・写真の利用については保護者アンケートをとり利用してもよい方のみ利用させていただいている。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	65%	35%	0%	
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	40%	15%	30%	・コロナ禍でできていない(無回答5%)
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	20%	70%	5%	・適宜見直し、修正を行いながら策定しているが、保護者には周知できていない。今後はホームページを活用し周知していく(無回答%)
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	65%	35%	0%	・マニュアルの作成、見直しを行っている。 ・1年に2回看護協会全体の避難訓練を行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	55%	35%	5%	・虐待防止委員会の設立を機に全員での研修を行う(無回答5%)
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	50%	20%	15%	・対象の利用児がいらないが、身体拘束防止委員会の設立を機に全員での研修を行う(無回答15%)
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	60%	25%	0%	・当事業所では食事の提供はしていないが、指示書での確認はしている(無回答15%)
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	0%	・ヒヤリハット記載し振り返りを行い、その都度解決策を検討している。